

## 第4回 名古屋市立中学校における部活動のあり方懇談会

### 意見交換 説明資料

2023年12月18日（月） 14:00～16:00

## 目次

1. 議論のふりかえり
2. 休日の活動の手法検討
3. 休日の地域活動のイメージ（案）

# 議論のふりかえり

## 中学校部活動の見直しの3つの方向性について

区分	国の提言上の課題	本市の現状（検証結果）	対応の方向性
機会確保	少子化が進行する中、従来の部活動の維持は困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数以上に部数が減少しており、従来の部活動のみでは活動機会の維持は困難</li> <li>・参加率の減少により適正な部員数の維持ができないこと、種目の充実度、習熟度（顧問）に課題があることから、従来の部活動のみでは活動機会の維持は困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や地域団体等の様々な主体による活動機会の確保</li> <li>・従来の部活動のあり方（学校単位の活動等）を前提としない活動も検討</li> </ul>
多様化	部活動不参加の生徒の中に、従来の部活動以外の種目・活動内容へのニーズもある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部数の減少とともに参加率も減少</li> <li>・従来の部活動とは異なる活動へのニーズも多い</li> <li>・部活動に参加している生徒は、勝敗よりも部活動自体を楽しむことに主眼を置いている</li> <li>・現状の部活動の日数は平日、休日とも生徒の理想よりも多く、負担感が生じている</li> <li>・現状、部活動以外の多様な活動に参加している生徒も相当数存在する</li> <li>・生徒、保護者とも、休日は部活動よりも余暇や多様な活動への参加を重視している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校外の指導者、活動団体の活用による多様化・多層化（ユニバーサルスポーツなどの導入）</li> </ul>
地域活用	行政と地域の連携が不十分で、地域の活動機会や指導者が十分整備されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動における地域人材の活用は2割</li> <li>・指導歴の浅い指導者が技能面の不安により中学生に対する指導に消極的</li> <li>・部活動とは異なる種目、多種多様な種目の指導者が存在</li> <li>・多くの指導者が団体に所属して報酬を得る活動形態を希望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体、指導者のノウハウの活用促進</li> <li>・個人の指導者の組織化</li> </ul>

- ①従来の部活動にミスマッチを感じている子どもが一定数いる
- ②全面的な地域移行を行うには、指導者確保等の条件整備に時間がかかる
- ③教員の部活動指導の負担軽減を早急に進める必要がある

⇒休日の部活動については廃止をするとともに、休日には地域を活用した活動を実施する

平日の部活動については、今後、国の動向や休日の活動・地域人材の状況を踏まえ、地域活用を含めた見直しの検討を行うが、当面は、活動時間・日数の見直しに加え、外部人材の拡充等により、教員の負担軽減と指導者の育成を図る

# 休日の活動の手法検討

## ①休日の活動として想定される手法

要素		部活動との連続性	
		あり	なし
行政の関与	強い	A 休日部活動を民間委託により実施（一部を合同部活動とする）	B 部活動とは別の公設のクラブを設立（運営は業務委託）
	弱い	—	C 地域団体・事業者による任意活動

## ②各手法の評価

手法	評価				課題等
	機会確保	多様化	地域活用	教員の負担軽減	
A 休日部活動の民間委託（一部を合同実施）	◎	×	△	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や平日の活動との連携、大会引率の整理</li> <li>長期的かつ大きな行政負担</li> <li>多様な地域資源を活用できない</li> </ul>
B 複数学区ごとに公設クラブを設置（民間委託）	○	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期的かつ一定の行政負担</li> <li>仕様書等により多様性が限定</li> </ul>
C 学校施設等を使用した地域団体の任意活動	△	◎	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動機会の確保が不透明（地域団体の参入促進・育成が必要）</li> <li>質を担保するための方策が必要</li> </ul>

⇒より多くの子どもが活動できる機会（選択肢）を設けるという対応の方向性に沿ったものとするとともに、教員の負担軽減の効果を高めることから、部活動との連続性を持たない地域の活動への移行を進める。

⇒地域の任意活動（C）を推進しつつ、活動機会が不足する地域の補完や種目・活動内容の多様性を先導するものとして公設クラブ（B）も導入することで、活動機会の確保を図る。

# 休日の地域活動のイメージ（案）

- ・ 部活動と異なる活動を休日に実施することで、より多くの子どものニーズに対応
- ・ 地域、事業者等、多様な主体が関わることで、活動機会の確保を図る

